

# 経営比較分析表（令和2年度決算）

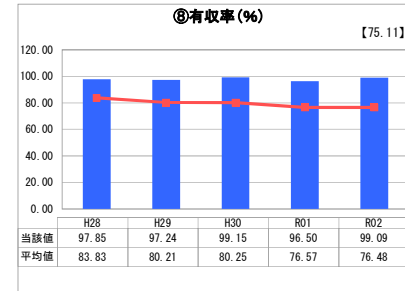
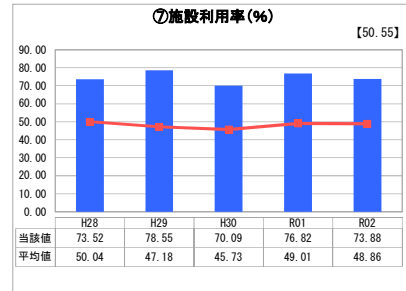
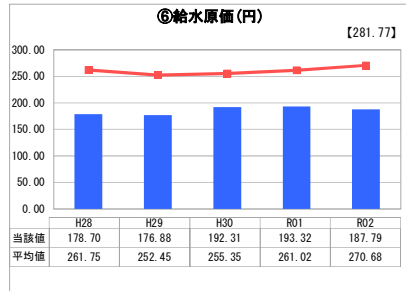
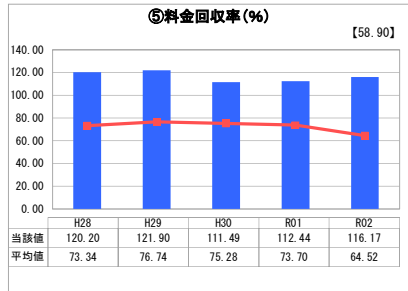
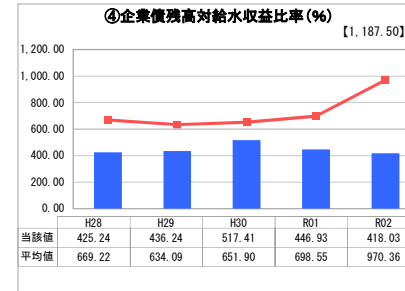
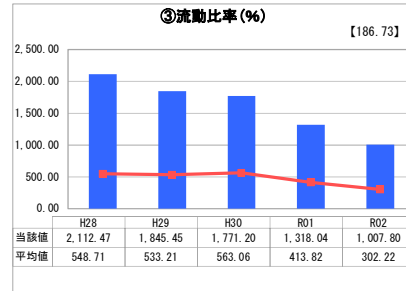
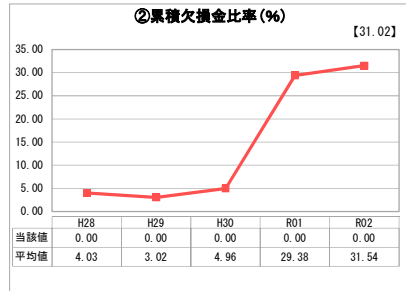
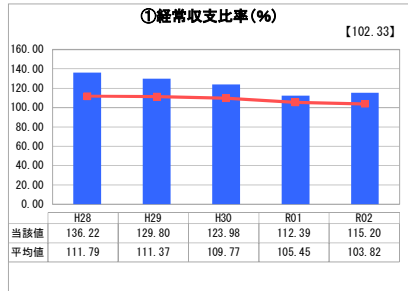
香川県 直島町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	簡易水道事業	C3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20㎡当たり家賃料金(円)	
-	67.40	99.90	3,400	

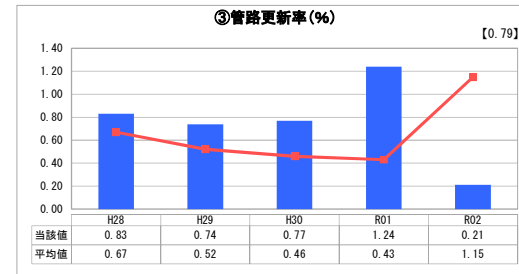
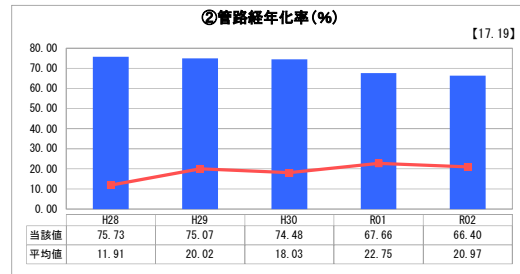
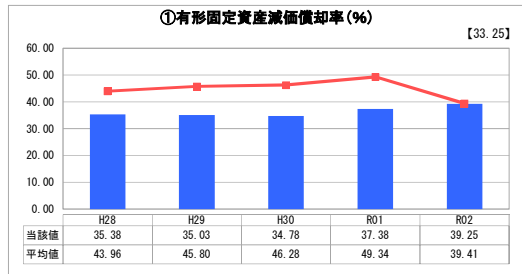
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
3,041	14.22	213.85
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
3,044	4.09	744.25

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
□	令和2年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

- ① 経常収支比率は類似団体に比べ7%程度高く、単年度収支は黒字であり、安定した経営となっている。
- ② 令和元年度以降、単独事業費が増加していく見込みなので、0%を維持するよう努力していく。
- ③ 高い流動比率を有しており、短期的な支払能力は今のところ問題はないと言える。遊休資産も抱えておらず健全な経営状態にあると言えるが、増加に転じるよう努力したい。
- ④ 企業債残高が経営に影響を与える比率は類似団体と比較しても小さな値となっており、経営の悪化する要因にはなっていないが、今後、老朽施設更新のために資金的支出が増加する見込みなので起債も検討する必要がある。
- ⑤ 料金回収率は常に100%を上回っており、給水に必要な経費はすべて水道料金で賄うことが出来ているため安定した経営状態にあると言える。
- ⑥ 給水原価は類似団体の平均を大きく下回っており、料金回収率が高いことが理由と言える。
- ⑦ 施設利用率は類似団体より高く遊休資産は少ない。よって施設規模及び配水量は適切であり、今後も安定した供給を保つことができると言える。
- ⑧ 有収率は類似団体の平均よりも高く、今のところ漏水対策等が適切に行われていると考えられるが、老朽管は多くあるため、計画的に更新していく必要がある。

### 2. 老朽化の状況について

- ① 令和2年度は耐震管の布設を実施したため、率は下がっていない。今後は、老朽管や老朽施設の実施していく予定である。
- ② 平成28年度以降、減少傾向にあると言えるが、今後も平均値に近づけるよう更新を実施していく。
- ③ 平成28年度以降、更新率は1%前後を推移している状況である。平成30年度で浄水場の更新が完了したため、今後は更新率を上げていくよう配水管更新工事を計画的に実施していく。

### 全体総括

経営状況は非常に安定しており、資金等も確保されているため、今後も効率的な経営を続けていくよう努め、住民に安心安全な水を届けられる体制を確保したい。

一方、管路については老朽化が目立っており計画的な更新を実施していく必要がある。水道基本計画に基づいた直島町簡易水道基幹改良事業による施設の更新事業は一旦完了したので、令和3年度以降、計画的な配水管の更新が求められる。ただし、今後は給水人口及び戸数の減少が予想されるため、令和2年度に公表した経営戦略（令和元年度～令和11年度）に基づき、長期的な経営状態を予測し、持続可能な経営を目指す。